

東京データプラットフォーム協議会 第4回防災データWG

○令和4年3月17日（木曜日） 17時00分～18時00分 WEB開催

1. 今年度のWG活動及びアイデアソンの振り返り
2. 各ユースケース案の課題と今後の取組方針
 - －①避難所情報
 - －②インフラ関連情報（断水給水・道路不通情報）
3. 意見交換
 - －今年度の振り返り及び次年度の取組に対する期待など
4. 今後の活動方針等

アジェンダ

1. 今年度のWG活動及びアイデアソンの振り返り
2. 各ユースケース案の課題と今後の取組方針
 - －①避難所情報
 - －②インフラ関連情報（断水給水・道路不通情報）
3. 意見交換
 - －今年度の振り返り及び次年度の取組に対する期待など
4. 今後の活動方針等

(振り返り) 防災データWG 概要

防災関連データの利活用を推進するWGを設立し、防災サービスの開発を後押し

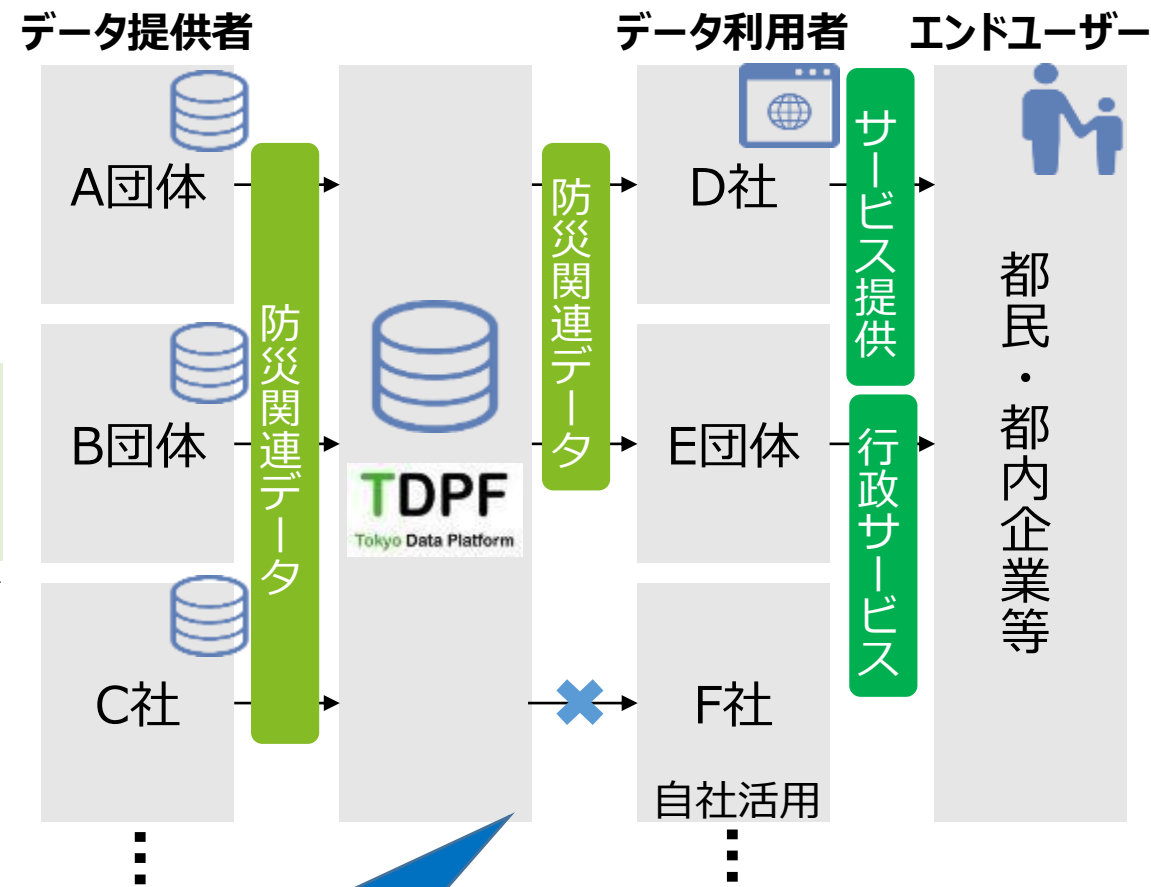
WGの取組概要

1. 防災に役立つデータの官民間での流通を拡大する
2. 防災サービスに必要な情報を洗い出し、それらの整備・連携方法を検討する

防災サービスの開発を後押しし、
都民・都内企業の防災対応力を向上

- 避難所や一時滞在施設等の関連情報の連携
- 断水や道路交通情報等を店舗運営・物資輸送等において参考情報として活用
- 発災時を想定したシミュレーションに各種ハザードマップを活用

活動イメージ (将来像)



今年度は、WGでデータ提供条件・フォーマット検討

TDPFの役割：
データ提供条件に応じて、
決められた範囲でデータを仲介

(振り返り) WGの活動経緯について

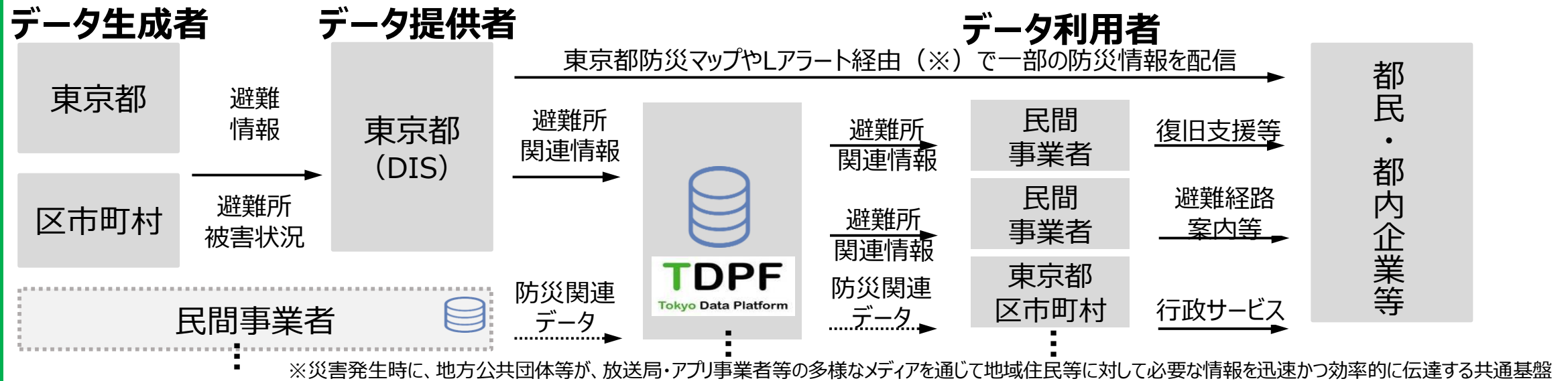
昨年7月に本WGを新設し、ユースケース検討や課題・対応策について整理

	WG開催スケジュール	実施事項
7-9月	第1回WG (7/15) ・キックオフ (背景・課題認識、活動目的)	ユースケースにおけるデータ利活用ニーズ、提供可能データ・条件の確認
10-12月	第2回WG (10/20) ・提供可能データ・利用条件等の説明 ・データ利活用ニーズの紹介	
	第3回WG アイデアソン (12/14) ・ユースケースの紹介、課題の検討 (アイデアソンによるユースケース深掘り)	ユースケース及び課題の整理・対応策の検討等
令和4年 1-3月	第4回WG (3/17) ・ 今年度活動総括 各ユースケースの課題・対応策 を踏まえた今後の進め方	今年度の成果及び ロードマップ案や検討方針の共有

第3回WG 活動報告

発災時や平時のユースケースイメージ、それらの実現に向けた課題等を共有

避難所関連情報の利活用



発災時①

発災時②

平時

インフラ関連情報の利活用

インフラ稼働状況のデータ利活用を促進し、店舗の運営継続判断、物資輸送、インフラの早期復旧等に活用

静的データの利活用

ハザードマップや過去の被災データ等を機械判読可能な形式に加工し、リスク診断や分析・シミュレーション等に活用

課題・論点

発災時

平時

リアルタイムにデータ収集できるか

データを利用しやすい形で速やかに流通できるか

データの提供範囲や利用条件をどう整理するか

収集・整備したデータを維持・更新できるか

データを誰が加工・整備するか

アイデアソン 実施概要

産学官の関係者が集まり、検討テーマ毎にオンラインでアイデアソンを実施

実施日時

■ 12月14日(火曜日)午後1時30分～午後4時、12月16日(木曜日)午前9時～午前11時

検討 テーマ

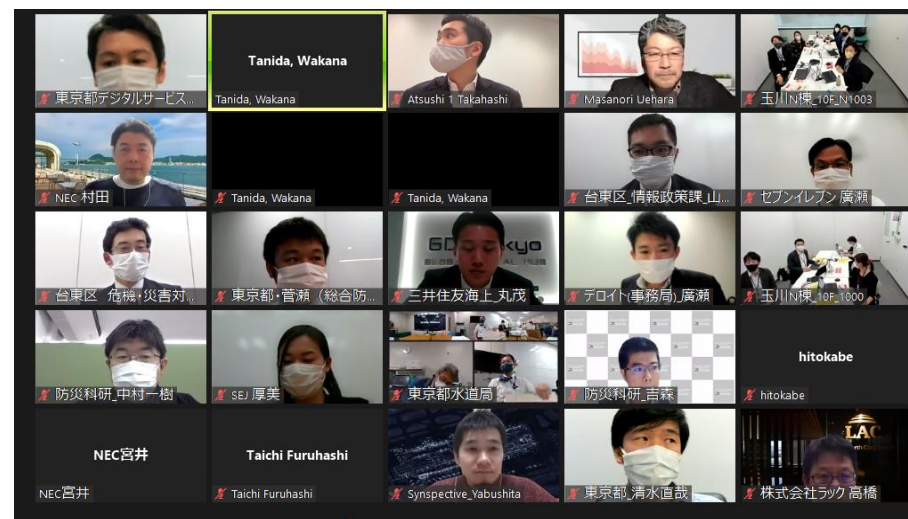
- ①発災時の都民生活の復旧等に資する官民データダッシュボードの作成
- ②平時系ユースケース創出
- ③発災時系ユースケース創出

参加 企業 等

- 青山学院大学/NPO法人 CrisisMappers Japan
- Office Hibiki
- (株)Synspective
- (株)セールスフォース・ジャパン
- セブンイレブンジャパン
- (株)ゼンリン
- 損害保険ジャパン(株)
- 台東区
- 日本電気(株)
- 防災科研
- 三井住友海上火災保険(株)/

MS&ADインターリスク総研(株)

- (株)ラック
- 東京都(総合防災部・水道局・建設局)



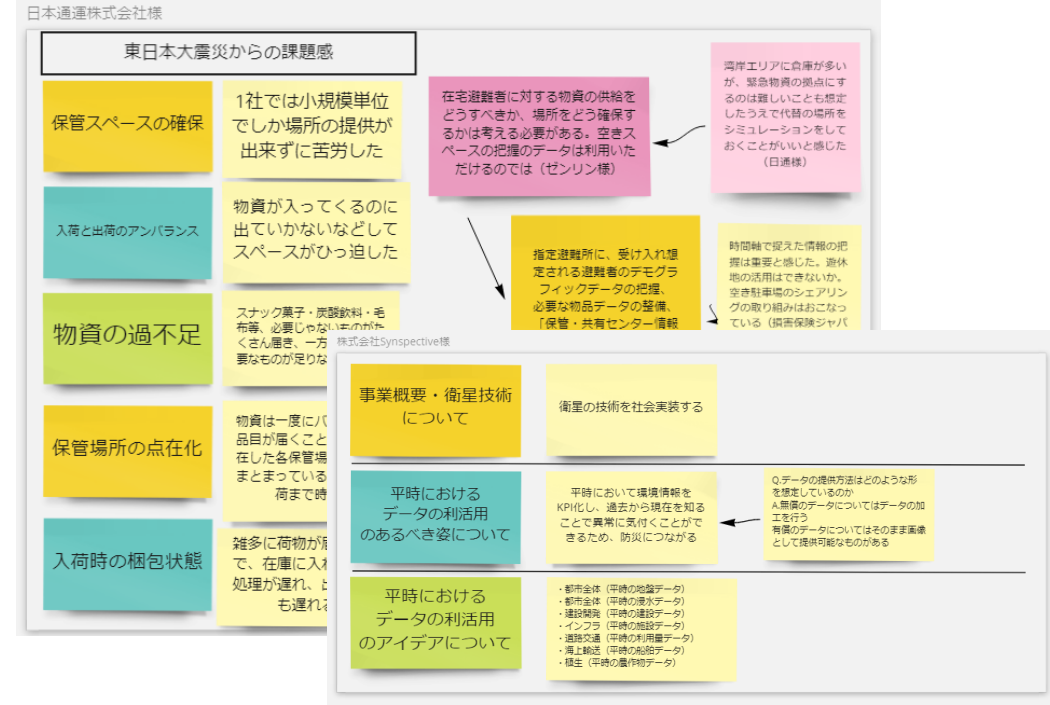
※WGで参加希望者を事前募集し、テーマ毎にグループング実施

検討テーマと 参加企業等

アイデアソン 実施結果①

クローズド・参加者間の顔が見える環境で、活発な提案・意見交換の場に

・Miro(オンラインホワイトボードツール)によるディスカッション



当日の議論のイメージ

参加者の声

- ・民間事業者の課題感をリアルに聞くことができた
- ・官民一体で課題解決を行う貴重な機会
- ・定期的な開催により一層議論を深めていきたい

アイデアソン 実施結果②

発災時・平時のユースケースや実現に向けた課題・対応策について意見交換

検討テーマ

参加者の意見・アイデア概要（一部抜粋）

発災時の
データ利活用ニーズ

- 避難所・トイレ・浴場の利用可否・混雑状況
- 飲料水の入手可能な場所
- 災害の状況(断水等)とその影響範囲

データ利活用の課題

- 混乱を招かない情報の公開範囲
- データ利用者のニーズに合わせたフィルターをいかに設定するか

新規
ユースケース

平時

- 有事の対応効率化及び保険金支払早期化
- ✓ ドローンや衛星等により取得したリアルタイムデータの活用
- ✓ BIツールの地図・空間分析を損害査定に利用

発災時

- 発災時の物資需給ギャップの防止
- ✓ 発災後の時間経過を捉えて需給の変化を把握する必要がある
- ✓ 各避難所に避難する人数・年齢・性別を把握することで、物資需給ギャップの発生を予測可能ではないか

課題や対応策に関する意見を踏まえ、今後ユースケース実現に向けた取組を加速

参加者の
ご意見
(一部抜粋)

- **避難所開設・混雑の状況**や**道路不通情報**等の情報が公開されると各種地図サービスでの情報加工が可能になる
- 収集したデータの利用条件に関して、提供者側がどのような観点でデータを収集しているかなど、**使い方も含めたルールの明確化**が必要
- 過去の災害などのデータを元に**災害発生になり得るようなリスク診断のKPI**や**基準**を整えていくことが重要
- 防災データは人命にかかわる可能性があり、**データの鮮度・正確性**を保つ必要あり

アジェンダ

1.今年度のWG活動及びアイデアソンの振り返り

2.各ユースケース案の課題と今後の取組方針

－①避難所情報

－②インフラ関連情報（断水給水・道路不通情報）

3.意見交換

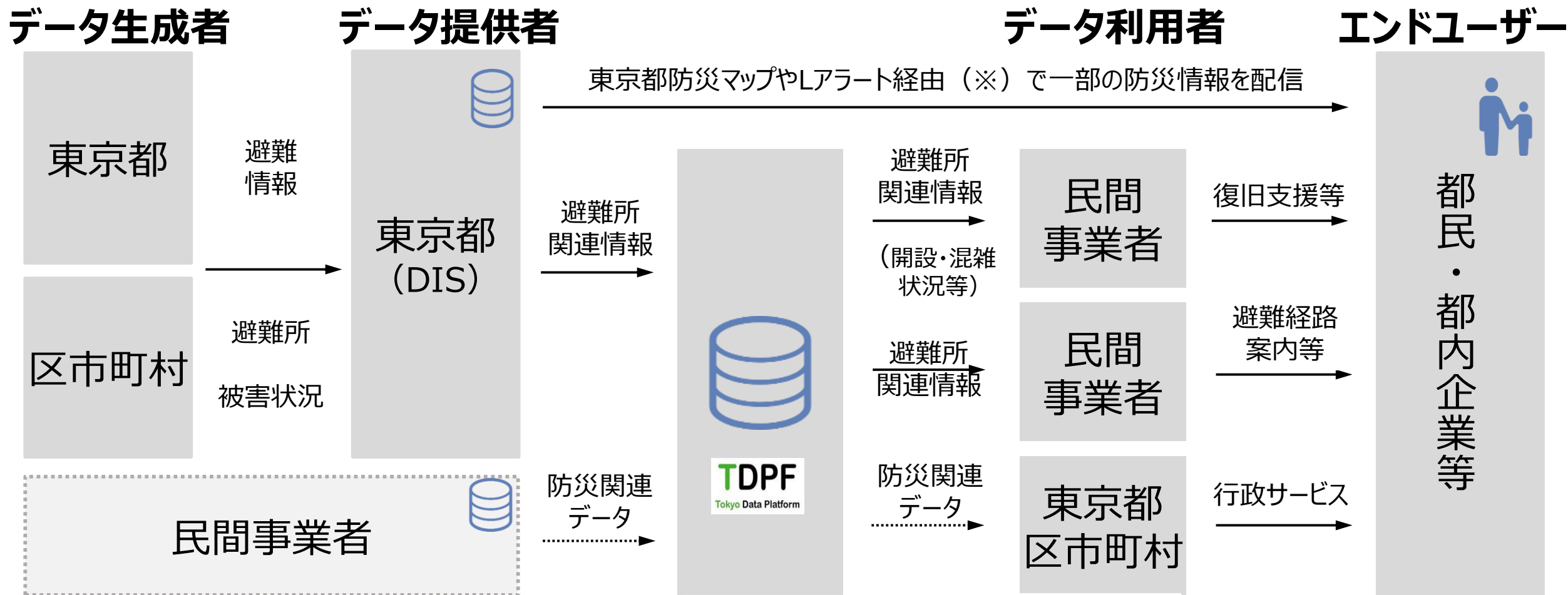
－今年度の振り返り及び次年度の取組に対する期待など

4.今後の活動方針等

(再掲) ユースケースイメージ① (発災時)

第3回防災データWG

東京都災害情報システム (DIS) で収集した避難所等の情報を 復旧支援や避難経路案内等に利活用



発災直後等に、地方公共団体等が、放送局・アプリ事業者等の多様なメディアを通じて地域住民等に対して必要な情報を迅速かつ効率的に伝達する共通基盤

避難所等の情報の利活用に向けた課題と取組方針

課題と取組方針を踏まえ、データ利活用に向けた取組を加速

データ利活用における課題

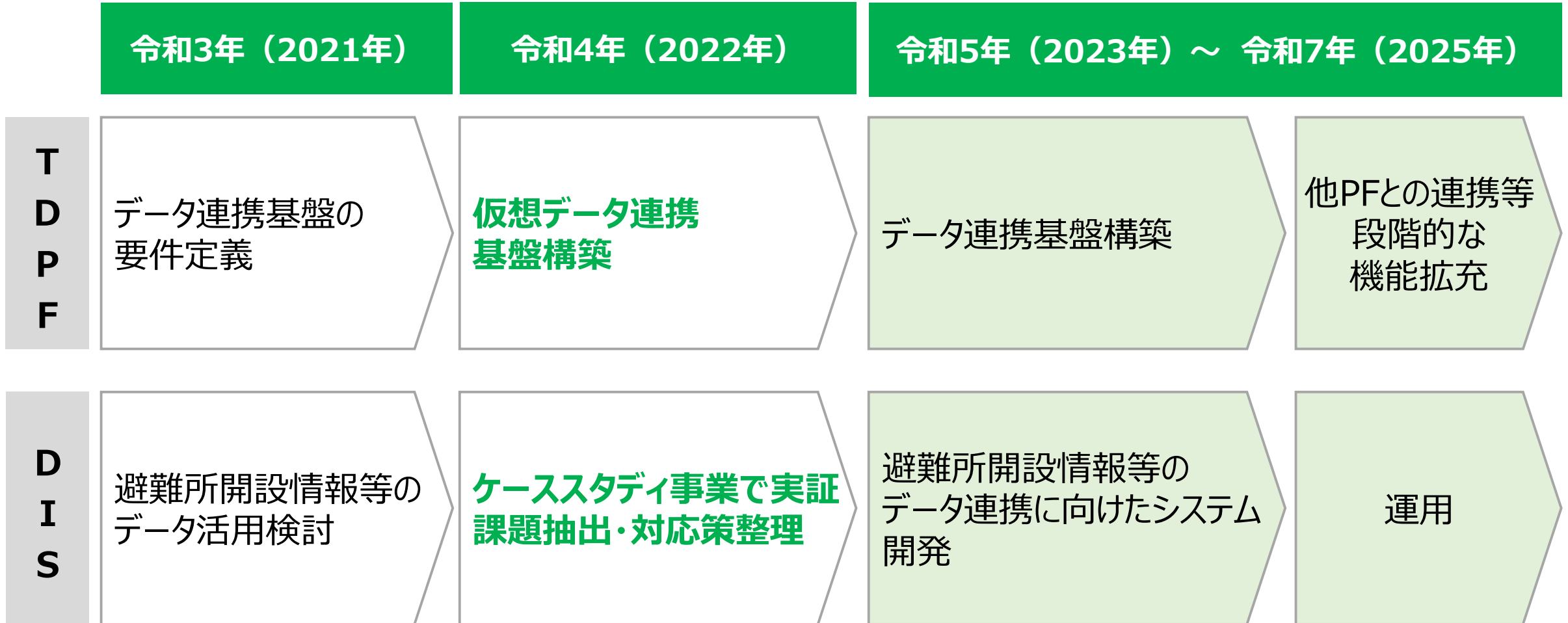
- (1) データを利用しやすい形で速やかに流通**できるか
ー 具体的にどのようなユースケースを想定し、どのような避難所等のデータを流通させるか。またそのデータはどのような形式が望ましいか
- (2) リアルタイムにデータ収集**できるか
ー (1)を踏まえ、対象とする避難所等のデータを如何に効果的に収集するか。
- (3) データの提供範囲や利用条件**をどう整理するか
ー 流通させる際、いつ・誰に・どういった条件で利活用してもらうか

取組方針

- (1) 次年度ケーススタディ事業を活用し、検討**
ー 避難所等のデータを活用したケーススタディに取り組み、対象データや形式を検討。仮想データ連携基盤の活用を踏まえ、課題・対応策を整理
- (2) 区市町村の意向も含め本WGで今後検討**
ー データの利活用による効果を整理し、入力する側の区市町村にとってのインセンティブを設計
- (3) 本WGで今後検討**
ー ケーススタディ事業の取組等も踏まえ、本WGの活動を通じて提供範囲・条件等を検討

避難所等の情報の利活用に向けたロードマップ（案）

ロードマップ案に基づき、次年度ケーススタディ事業等を通じて TDPF・DIS双方のシステム要件等を検討



WGでの検討テーマを中心にケーススタディを3件公募 仮想データ連携基盤の利用、ポリシー案適用により実装に向けた検討を具体化

事業内容

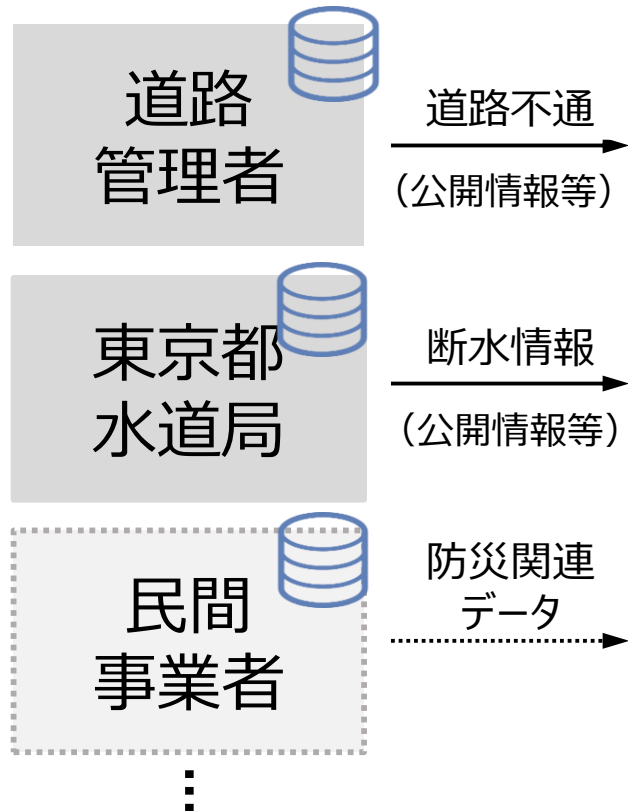
- ① TDPFの継続利用に繋がるケーススタディを3件公募
 - 協議会WGにて検討したテーマ等の実証など
- ② TDPF関連事業における具体的な検討の場として活用
 - 1) 仮想データ連携基盤を利用し、要件のフィードバック
 - 2) データ提供及び利用の際にポリシー案を適用し、課題の洗い出し
- ③ 得られたケーススタディを利活用事例として、積極的に広報
 - 適宜実施するイベントや、協力事業者としての参画により一体感を高める

実施内容・スケジュール

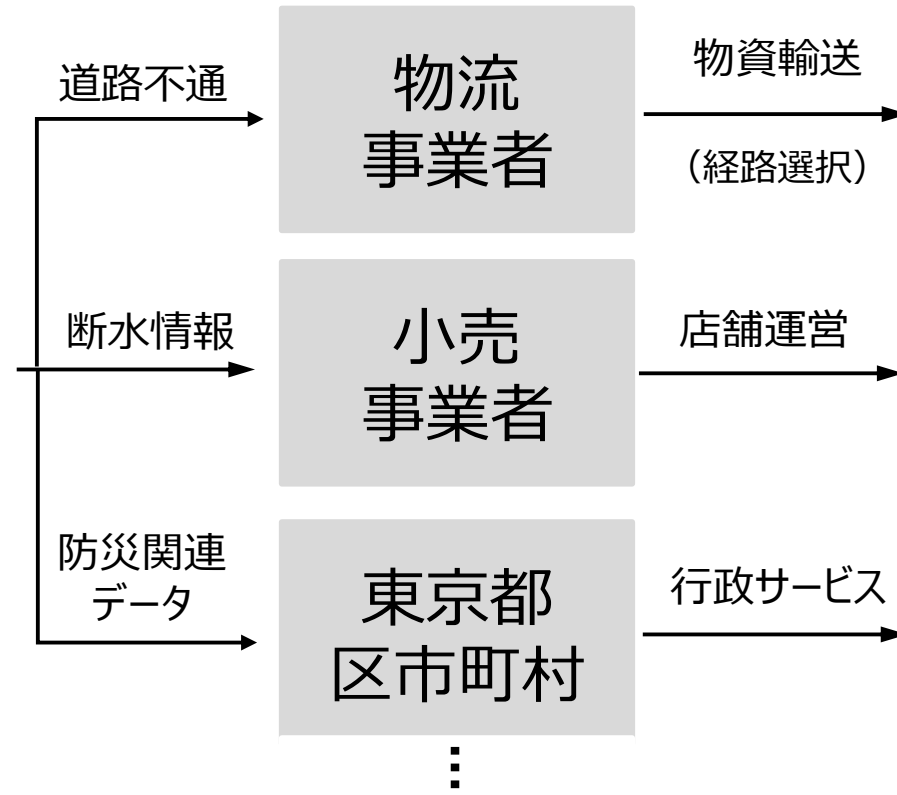
	Step1 公募・選定 (4~6月)	Step2 プロジェクト実施 (7~翌2月)	Step3 評価 (翌3月)	
① 事例創出	<ul style="list-style-type: none">• テーマ設定• 公募・選定	<ul style="list-style-type: none">• 協力事業者募集• 実証準備	<ul style="list-style-type: none">• 実証期間	<ul style="list-style-type: none">• 実証結果の分析• 最終報告書として公開
② 事例広報	<ul style="list-style-type: none">• HP等での進捗共有、成果発表会等のイベント実施			

道路通行止め・断水等のインフラ稼働状況のデータ利活用を促進し、 店舗の運営継続判断、物資輸送、インフラの早期復旧等に活用

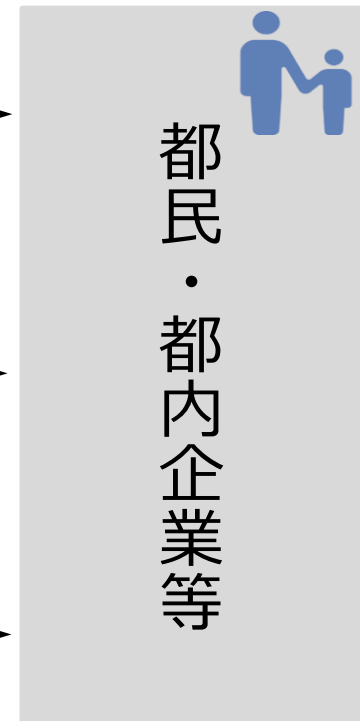
データ提供者



データ利用者



エンドユーザー



インフラ関連情報（断水/給水拠点・道路不通情報等）のデータイメージ

発災時に各局HP等での情報発信を想定している 断水・給水拠点や道路不通情報等のデータ利活用に向けた検討に着手

データイメージ① 区部の断水等の状況



※断水率によって色分けをして表示予定

○配水管の通水状況に基づき情報発信（※）することを想定。

通水地域の住居等であっても、その先の給水管の状況により

断水している場合あり

データイメージ② 災害時給水ステーション（給水拠点）

区名	施設名	所在地
千代田区	区立東郷元帥記念公園	三番町18番地
	都立日比谷公園	日比谷公園1番地
	都立一橋高等学校	東神田一丁目12番13号

○区部、多摩地区の施設名・所在地・開設状況等について
情報発信（※）することを想定

データイメージ③ 都道通行止め情報

【新規】通行止め区間					
区分	路線名	通行止め区間及び延長	開始日時	解除日時	摘要
新規	一般都道○○号 (○○道路)	○○ ~ ○○ ○○km	令和○年○月○日 ○時○○分	未定	積雪

※情報の収集状況や発信ツール（都庁HP、局公式Twitter、報発表等）に応じて発信情報は適宜変更

課題・検討方針に基づき、今後取組を推進

課題

(1)リアルタイムにデータ収集できるか

- ー企業・団体が保有するデータ等も活用し、如何にリアルタイムに正確な情報を収集・発信できるか

(2)データを利用しやすい形で速やかに流通できるか

- ー発信した情報を利活用する上で必要なデータ項目やフォーマットについて未検討。また、それらの情報をどのように整備・加工するか

(3)データの提供範囲や利用条件をどう整理するか

- ーまずは各局HP・Twitter、報道発表等で発信済の情報を対象とするため、原則オープン

検討方針

(1)関係局にて検討

- ー企業・団体が保有するデータや提供意向等を整理・確認し、行政として利活用できないか検討

(2)本WGやTDPF関連事業にて検討

- ーデータ項目やフォーマットについては、本WGで利用者ニーズを聴取の上整理。行政データ整備モデル事業の成果（マニュアル）やケーススタディ事業等を参考にデータ整備手法・環境等を検討

自治体のデータ整備の取組状況に応じた、整備モデルのマニュアル化を実施

整備モデル	対象データ	協力自治体	マニュアルの内容
①画像・PDFから変換	地域・年齢別人口	板橋区	PDFのみでしか取り出せないデータがある自治体向けのマニュアル
②エクセルデータからの変換 (緯度経度クレンジング含まず)	介護サービス事業所の一覧	八王子市	エクセルデータ化まではできているが、エクセルデータのフォーマットの統一を進める自治体向けのマニュアル
	医療機関の一覧	板橋区	
	医療機関の一覧	三鷹市	
	避難関連施設情報	八王子市	
③エクセルデータからの変換 (緯度経度クレンジング含む)	介護サービス事業所の一覧	三鷹市	エクセルデータの中で、住所等のフォーマット統一ができしており、緯度経度情報を追加し正規化するマニュアル
	医療機関の一覧	八王子市	
	バリアフリートイレ情報(※)	港区	
④複数区のデータ変換・統合	地域・年齢別人口	品川区 目黒区 渋谷区	複数の自治体のオープンデータを変換・統合し、民間事業者の中で流通しやすい形式にするためのマニュアル

※第3回推進会議以降、授受するデータのフォーマットに変更並びに事例の少なさを鑑みて、Shapeファイル等の整備は削除

今後の
予定

- パターンに応じたマニュアルを作成し、成果報告会を実施 (3月下旬)
- データ整備対象を拡充し、データ整備事業の準備を進める (令和4年度以降)

アジェンダ

1. 今年度のWG活動及びアイデアソンの振り返り
2. 各ユースケース案の課題と今後の取組方針
 - －①避難所情報
 - －②インフラ関連情報（断水給水・道路不通情報）
3. 意見交換
 - －今年度の振り返り及び次年度の取組に対する期待など
4. 今後の活動方針等

1. **今年度の振り返り・成果**
2. **次年度の取組に対する期待 等**

アジェンダ

1. 今年度のWG活動及びアイデアソンの振り返り
2. 各ユースケース案の課題と今後の取組方針
 - －①避難所情報
 - －②インフラ関連情報（断水給水・道路不通情報）
3. 意見交換
 - －今年度の振り返り及び次年度の取組に対する期待など
4. 今後の活動方針等

今後の活動方針

今年度の活動を踏まえ、ユースケース実現に向けて 具体的な課題整理や対応策に取り組む方針

令和3年度

令和4年度

動的データ

避難所や断水給水・道路
不通情報等のインフラ稼働
状況のデータ利活用の検討

① 避難所データを活用したユースケース実現
に向けて、ケーススタディ事業等を通じ、より具
体的な課題・対応策（役割分担）を整理

② 断水給水・道路不通情報等のインフラ稼働
状況のデータ利活用に向けて、データ項目や
フォーマット案を検討

静的データ

各種ハザードマップや過去の被災データ等の利活用事例検討・創出

今後の予定について

「Society 5.0」社会実装
モデルのあり方検討会 報告会

3月24日

「スマート東京」の実現に向けたデータ利活用の取組の進捗を中心に、有識者からの意見聴取の報告会を実施

行政データ整備モデル事業
データ整備成果報告会

3月下旬

自治体のデータ整備の取組状況に応じて作成した、整備モデルのマニュアルなどを紹介

事務連絡

本会議終了後、アンケートを送付します。ご協力お願いいたします。

本WGのSlackグループにご参加いただける方は、アンケート内にアカウント作成に必要なメールアドレスをご記入ください。皆さまのご参加お待ちしております。